



医療法人社団 唱和会

明野中央病院



2009年度

年 報 vol.3

(2009年4月～2010年3月)



当院マスコットキャラクター「ふくろう」

— 真多呂人形教室の鈴木真寿寛先生より寄贈 —

ご 挨拶



院長 木下 昭生

2009年度は、日本にとって激動の一年でした。政治面では衆議院選挙で自民党が大敗し、国民の大きな期待を背負って民主党が第1党となり政権交代が実現しました。民主党政権にかわって日本が良くなるかというのは正直まだ“？”ですが、少なくとも国民の力で政権交代が起こりうることを示せたのは大きな一歩だと思います。医療面では新型インフルエンザが大流行し、社会的に大混乱を引き起こしました。成田空港での検疫の強化で“水際作戦”として黄色の防護服をまとった検疫官の姿が連日テレビで放映されました。また、不幸にも同乗機で近くに患者がいた場合、1週間、空港の近くのホテルに強制的に収容され、カナダから帰ってきた修学旅行の学校の校長先生の悲痛なインタビューが報道されたのが印象的でした。さらに、ワクチンが開発されると、その接種の優先順位や接種回数について論議がおきました。発熱外来や学級・学校閉鎖で日本中大騒ぎしたのがつい1年前とは今となっては嘘のようです。

明野中央病院にとっても昨年度は、大きく意味のある1年でした。麻酔科の常勤医として森先生、こつ・かんせつ・リウマチセンター長として藤川先生を迎えることができ、整形外科の専門的治療や手術の安全性を飛躍的に向上できたと思います。また、昨年10月にはアクロスホールで健康セミナーを開催でき、500人を超える地域の皆様と交流もできました。

昨年1年間の当院の歩みをまとめた年報がようやく完成しました。年報は今年でまだ3冊目ですが、当院の状況が少しでも御理解いただければと思います。

病院理念

医療・介護を通じ、患者さんの生活の質の向上に努める

基本方針

- 一、家庭的な優しい医療・介護の実施に努めます
- 一、地域の皆様から安心・信頼される病院づくりに努めます
- 一、患者さんひとりひとりの権利を尊重するように努めます
- 一、たえず医療・介護の質の向上に努めます
- 一、地域の健康増進・病気の予防に努めます



目 次

ふくろうの会	1
ボランティアの会	3
病院沿革及び概要	5
職種別職員数	7
設備の概要	7
組織図編成表	8
2009年度事業報告	9
活動報告	
＜診療部門＞	
内科	19
整形外科	21
消化器科	24
麻酔科	25
こつ・かんせつ・リウマチセンター	26
＜診療補助部門＞	
リハビリテーション科	27
診療情報管理室	30
薬剤科	31
臨床検査科	32
放射線科	36
栄養科	37
医療安全管理室	39
＜看護部門＞	
看護部	41
2階病棟	45
3階病棟	47
手術室	49
外来	51

<支援部門>

地域医療連携室	5 2
---------	-----

<事務部門>

事務部	5 3
医療事務課	5 5

<委員会>

医療事故防止委員会	5 6
医療ガス安全委員会	5 8
感染対策委員会	5 9
情報管理委員会	6 1
IT委員会	6 2
倫理・個人情報保護委員会	6 3
褥瘡・栄養対策委員会	6 4
労働安全衛生委員会	6 8
広報委員会	6 9
サービス向上委員会	7 0
教育委員会	7 2
図書委員会	7 3
クリティカルパス委員会	7 4

<その他>

NST	7 5
糖尿病相談会	7 7
親和会	7 8
新聞記事	7 9

地域交流会（ふくろうの会）

1. 設立目的

当院は病院理念に、医療介護を通じ、患者さんの生活の質の向上に奉仕するを掲げ、地域の皆様から安心信頼される病院作りを目指し日々努めております。

さらに今後も真に地域に根ざした医療機関として皆様方の期待に応えられる病院としてあるべき姿を模索しております。

そこで、広く地域の皆様方と意見交換を行い、医療全般に関する苦情、要望、今後の地域の病院として医療機関の果たす役割等についてご意見を聞きたく設立しました。

2004年9月発会。

2. メンバー 2009年4月現在

古川 慶吾 様（ふくろうの会会長）

湯田 国男 様（明野さつき町会長）

首藤 和也 様（明野東町会長）

長尾 正晴 様（当院 OB 代表）

中山 満 様（明野日の出町会長）

松永 洋平 様（明野高尾会長）

四井 昇 様（患者様代表）



第11回 明野中央病院・地域交流会（ふくろうの会）

平成21年9月9日(水)12:30~13:30

1. 院長あいさつ

※新任医師の紹介 ・麻酔科 森 正和先生
・こつ・かんせつリウマチセンター長 藤川 陽祐先生

2. 昼 食 ・検食アンケート実施 [メニューの紹介; 中村管理栄養士]

3. 当院の近況報告 [中村副院長]

①麻酔科常勤医師着任

②こつ・かんせつリウマチセンター開設

③回復期リハビリテーション病棟入院料Ⅰ（重症患者回復病棟加算）基準クリア

④明野中央病院健康セミナー

“華麗なるヒコキ野郎！ 高橋淳さんを迎えて講演会” 10月18日

⑤ガーデンティーパーティを開催 11月 7日・5月15日

⑥防災訓練 11月22日・5月29日

⑦クリスマス会 12月 6日

⑧新春明野寄席 1月10日

⑨看護の日 中学生一日看護師体験 5月 9日

⑩吉田 寛先生講演会 6月25日

⑪講演会

・つるさき七輪の街づくり健康講座 10月 5日

・メタボと糖尿病の予防 11月13日

・産業医シンポジウム・老人施設等

⑫学会発表

・第18回大分県リハビリテーション医学会にて 11月 9日

・大分県病院学会 11月24日

・全国回復期リハビリテーション病棟連絡協議会 2月14・15日

⑬第20回・第21回・第22回 糖尿病相談会

⑭満足度調査

⑮「ご意見箱」より

⑯当院で亡くなられた方のご報告

4. こつ・かんせつリウマチセンター開設イベントについて [中村副院長]

5. ご意見交換

6. 古川会長ごあいさつ

※ ご出席者（順不同）

古川 慶吾 様（ふくろうの会会長） 中山 満 様（明野日の出町会長）

益守 照道 様（明野旭町会長） 松永 洋平 様（明野高尾町会長）

湯田 国男 様（明野さつき町会長） 四井 昇 様（患者様代表）

長尾 正晴 様（当院OB代表）

※ 当院出席者

木下院長、中村副院長、奥野安全管理部長、鈴木看護部長

高山参与、里谷事務長、安部総務課長、佐藤

ボランティアの会

1. メンバー 2009年4月現在

会長 志水 篤信 様

副会長 赤田 久代 様

加来 邦子 様

佐藤 邦子 様

高木 美和 様

田代 千枝 様

倉住 れい子 様

高平 潤子 様

三宮 麗子 様

磯部 都喜美 様

小柳 巴 様

立矢 一美 様

石田 洋子 様

2. ボランティア内容

- ・グリーンボランティア
- ・各種イベント企画
- ・運営ボランティア
- ・クリスマス会
- ・ガーデンティーパーティー
- ・講演会手伝い等



花壇の植え替え



ガーデンティーパーティー



クリスマス会

第10回 明野中央病院ボランティア懇談会

平成21年9月14日(月)

12:30~13:30

1. 院長あいさつ

- ※新任医師の紹介 ・麻酔科 森 正和先生
・こつ・かんせつリウマチセンター長 藤川 陽祐先生

2. 昼 食

3. 当院の近況報告

〔中村副院長〕

- ①麻酔科常勤医師着任
②こつ・かんせつリウマチセンター開設
③回復期リハビリテーション病棟入院料Ⅰ（重症患者回復病棟加算）基準クリア
④明野中央病院健康セミナー
“華麗なるヒコーキ野郎！高橋淳さんを迎えて講演会” 10月18日
⑤新春明野寄席 1月10日
⑥看護の日 中学生一日看護師体験 5月 9日
⑦吉田寛先生講演会 6月25日
⑧満足度調査

4. ボランティア活動

〔佐々木部長〕

- ①ガーデンティーパーティ 11月7日・5月15日
②クリスマス会 12月 6日
③ひなまつり飾り

5. こつ・かんせつリウマチセンター開設イベント

10月12日

6. ご意見交換

7. 志水会長ごあいさつ

※ ボランティアご出席者（順不同）

志水 篤信 様	倉住 れい子 様
赤田 久代 様	高平 潤子 様
田代 千枝 様	高木 美和 様
加来 邦子 様	佐々木 友江 様



※ 当院出席者

木下院長、中村副院長、鈴木看護部長、池田看護副部長
高山参与、里谷事務長、佐々木リハ部長、安部総務課長

■病院沿革

- 1974（昭49）年 1月 医療法人社団恵愛会 大分中村病院の分院として開院。
（病床数65床）
同時に『救急指定病院』『労災指定病院』の指定取得
- 1978（昭53）年11月 『医療法人社団唱和会 明野中央病院』として、
分離独立
- 1997（平9）年 3月 社団法人日本整形外科学会認定医制度による
『研修施設』認定取得
- 1999（平11）年 5月 第一期増築工事完成（病床数70床）
バイオクリーンルーム設置（手術室）
ヘリカルCT設置
- 同 年 7月 身体障害者福祉法第19条の2の規定による
『更正医療を担当する医療機関』の指定取得
- 2002（平14）年 6月 第二期増築工事完成（病床数75床に増床）
- 同 年 7月 「居宅介護支援事業所」を開設
MRI 設置
- 同 年 9月 パワーリハビリテーション機器導入
- 2004（平16）年 1月 一般病床45床、特殊疾患療養病棟（Ⅱ）（30床）
- 同 年 3月 『臨床研修病院』指定取得（厚生労働大臣指定）
- 2005（平17）年 9月 一般病床のうち、8床を『亜急性期入院医療管理料』と
して届け出
- 同 年 10月 （財）日本医療機能評価機構 認定病院を取得
- 2006（平18）年 4月 『亜急性期入院医療管理料』を8床から10床に増床
院外処方箋発行開始
- 同 年 8月 『訪問看護ステーション・ふくろう』開設
- 同 年 9月 マルチスライスCT設置
- 2007（平19）年 2月 特殊疾患療養病棟（Ⅱ）（30床）を回復期リハビリテーション病棟に変更
- 2008（平20）年 1月 社団法人日本手の外科学会認定医制度による
『基幹研修施設』認定取得
- 2008（平20）年10月 回復期リハビリテーション病棟入院料1（重症患者回復病棟加算）
- 2009（平21）年 7月 『こつ・かんせつ・リウマチセンター』開設
- 2009（平21）年11月 社団法人日本リハビリテーション医学会による
『研修施設』認定取得

病院概要 (2010年3月現在)

許可病床	一般病床 75床
標榜科目	内科／整形外科／リウマチ科／外科／消化器内科 形成外科／リハビリテーション科／麻酔科（森正和）
専門外来	禁煙外来
施設基準	7：1入院基本料（7：1看護配置） 回復期リハビリテーション病棟入院基本料 脳血管疾患リハビリテーション料（Ⅰ） 運動器リハビリテーション料（Ⅰ） 呼吸器リハビリテーション料（Ⅰ）
研修施設	日本整形外科学会認定医制度研修施設 日本手の外科学会認定医制度研修施設 日本リハビリテーション医学会研修施設
主な施設	一般病床 45床（亜急性10床含む） 回復期リハビリテーション病棟 30床 リハビリテーションセンター （作業療法室・理学療法室・言語療法室）
学会認定 専門医・指導医	日本内科学会 内科専門医 日本内分泌学会 内分泌代謝科専門医 日本整形外科学会 整形外科専門医 日本脊椎脊髄学会 脊椎脊髄外科指導医 日本手の外科学会 手の外科専門医 日本リハビリテーション医学会 指導医 専門医 日本リウマチ学会 リウマチ指導医 専門医 日本消化器科学会 専門医 日本消化器科内視鏡学会 専門医 日本外科学会 専門医 日本神経学会 専門医 日本麻酔科学会 麻酔科専門医 日本集中治療医学会 集中治療専門医

職種別職員数

127名

(2010年3月31日現在)

医 師	9名	診療放射線技師	2名
薬 剤 師	2名	臨床検査技師	2名
看 護 師	47名	管理栄養士	1名
准 看 護 師	13名	栄 養 士	1名
看護業務補助者	12名	医療社会事業従事者	1名
理学療法士	8名	事務職員	16名
作業療法士	5名	その他職員	7名
言語聴覚士	1名		

設備の概要

電気設備

受電電圧 6, 600W
 契約電圧 230kW
 負荷設備 負荷合計 700kW
 動 力 300kW
 電 灯 250kW
 放射線 150kW

発電設備

1号機 3相 220V 115kW
 対象負荷 (消火ポンプ OP 室照明 診察室 ナースセンター
 各階非常用コンセント)

空調設備

電気ヒートポンプエアコン GE
 ビル用マルチエアコン 三菱・ダイキン

昇降設備

寝台用 2基
 ダムウェーター 1基

蒸気設備

給湯ボイラー シンクロヒーター 100, 000Kcal/H

防災設備

屋内消火ポンプ 5.5kW×1
 P型1級受信機複合盤

組織図編成表

2010年3月31日



2009年度事業報告

2009年 4月 ○花見（城址公園にて）



5月 ○看護の日に中学生『一日看護師体験』

○第4回 ガーデンティーパーティを開催（ウッドデッキにて）

○春の防災訓練実施



- 6月 ○第22回 糖尿病相談会
○コピーライター 吉田寛さん講演会
○第4回ボーリング大会実施



- 7月 ○第8回 大分外傷研究会
○いきいき健康講座で講演

- 8月 ○院内研究発表会
○慰霊祭を実施



- 9月 ○第10回『ボランティアの会』実施
○第11回地域交流会『ふくろうの会』実施
○大東中学職場体験
○明野中学職場体験



10月 ○救急蘇生講習

○明野中央病院健康セミナー「骨と関節とリウマチの話」

○大分県病院学会で発表



11月 ○第5回 ガーデンティーパーティ開催（ウッドデッキにて）

○血液製剤・輸血について勉強会

○秋の防災訓練実施

○第3回 バーベキュー大会（高尾山公園にて）



12月 ○クリスマス会実施
○病院忘年会（トキハ会館にて）



2010年 1月 ○新春明野寄席実施
○第9回 大分外傷研究会



2月

3月 ○院内感染対策研修会
○病院総会

～「骨と関節とリウマチの話」開催～

当院は、病院運営の基本方針の一つとして「地域の健康増進・病気の予防に努めます」を掲げています。また、本年7月より「こつ・かんせつ・リウマチセンター」を開設したこともあり、今回のテーマは「骨と関節とリウマチの話」としました。講師に当院こつ・かんせつ・リウマチセンター長の藤川陽祐、サイクルライフナビゲーターで健康管理士の絹代さん、沖縄在住の歌手砂川恵理歌さん、織部リウマチ科内科クリニック院長の織部元廣先生を迎え、短い時間の中に様々な内容を欲張って盛り込みました。

骨と関節と
リウマチの話

- 13 -



血圧・体力測定



展示



砂川恵理歌さん



絹代さん



パネルディスカッション



織部先生



真多呂人形のふくろうくんが仲間入り

大分市城東町で真多呂（またろ）人形の教室を開いている鈴木真寿寛先生より、当院のマスコットキャラクター「ふくろうくん」の人形をご寄贈いただきました。真多呂人形とは、260年の伝統ある木目込み人形の技法を継ぎ現代に伝える伝統工芸です。先生の教室には、雛人形、五月人形をはじめ昨年の大分国体のマスコット「めじろん」など、さまざまな種類の人形が飾られています。今回「ふくろうくん」の制作をお願いしたところ快くお引き受け頂き、ふくろうくんだけでなく可愛い仲間たちも作っていただきました。大変すばらしい作品をご寄贈いただきありがとうございます。



「ふくろうくん」と仲間たち

左が鈴木先生



花日記 ～2階ウッドデッキから～

2階のウッドデッキにはボランティアの方々が育てた四季折々の花が咲いています。
傍らの「花日記」には多くの書き込みが・・・

お花の手入れお疲れさまです。

色々な種類があつて、楽しく感じました。

自然を感じさせてくれるお庭に癒されました。有り難うございました。

今日、手術を受ける患者の家族より。 又、参ります。

談話室から見える庭の草花多種多様でとてもいやされますね。草花たちも雨を浴びしっかり育ってほしいと思いました。

患者の家族より



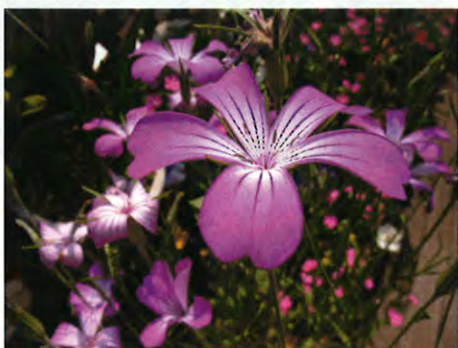
とてもきれいなお花が咲いて良く手入れされていました。気持ちがいいですね。(本日、入院)心がなごみます。ありがとうございます。

素敵なウッドデッキですねー！

入院中はあまり外の景色等楽しめず退屈しがちですが、こういうウッドデッキに様々な草花があると心のオアシスになってとてもいやされますね！

車椅子生活している子供が「外の空気を吸いたい」とウッドデッキに出て気持ち良さそうに過ごしていました。

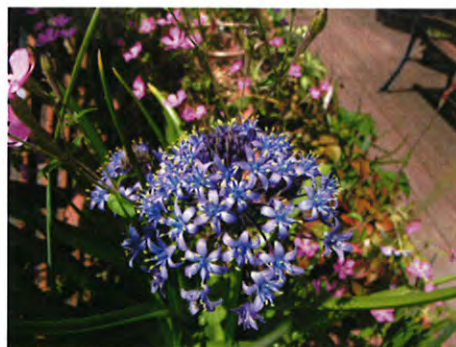
今後も手入れ等大へんだと思いますが宜しくお願いします。



庭のわたの花 昔 なつかしい日々を思い出しました。
色々の花がとってもすてきです。



息子（高1）手術のため初めてこちらに来ました。一日の入院でしたが、ウッドデッキのたくさんの花を見られてよかったです。日赤の前にある大分短大（園芸科）の園芸療法の教室に長年かよっています。いろいろ思い出し楽しかったです。
ありがとうございました！



花壇のいろとりどりの鉢が目を楽しませてくれます。我が家の家庭菜園も昨年以上にグレードアップしようと肥料入れの準備をしていました。その最中に倒れ救急車で病院に運ばれました。思いの外、手術も順調にすすみ。気持ちは花壇と畑（予定はトマト、ナスビ、ゴーヤ、キュウリ、ジャガイモ）です。玄関先に30鉢並べてる花は病院の談話室の目の前に広がるような形を参考に、南側の居間に移そうと思っています。風にゆらぐ花々が慰めてくれます。有り難う。

